

# 子どもたちが幸せに生きる熊本に！

熊本県議会議員 つつみ泰之活動報告

## つつみ @ 通信



あけましておめでとうございます。昨年12月16日に祖母が98歳で亡くなり年始の挨拶を控えさせていただきました。祖母は大正15年今の熊本市南区富合町生まれ。戦後36歳で夫を亡くし小学校教師として一人娘である私の母を育て上げ、最後は5人の孫夫婦と19人のひ孫に見守られながら旅立ちました。先生時代は厳しい目をしていましたが、常に子ども達に囲まれていた為か歳とともに穏やかな性格になりました。故人の状況もあり家族葬で送りましたことをご縁をいただいた方々にお詫び申し上げます。戦争を知る親族がいなくなりました。平和への感謝と責任を胸に刻んで跡を担って参ります。

### 【全国公立高初！熊本県立高森高等学校《マンガ学科》視察】

12月19日に県立高森高校マンガ学科の視察に行ってきました。熊本県、高森町、高森高校、そして株式会社アミックスの四者が連携して実現したマンガ学科も現在高校二年生の初めての就活や、今年のオープンスクールに参加した248名もの学生さん達が受験した際の選考、寮の不足等の課題に直面しています。これからもしっかり子どもたちの夢と情熱を大切に育てていってほしいです。



書籍紹介

『ザイム真理教と闘う！救民内閣構想』  
国民負担を減らし、日本を元気にする秘策

森永卓郎・泉房穂/著

政治経済の論客として注目されるお二人の対談形式の書共通しているのは国民生活最優先の政策転換をすべきという信念。この本が売れている事実に今の時代を感じます。

#### 本書紹介（目次より）

- ・政治主導で健全な財政を取り戻す
- ・現実を知らない官僚たち
- ・次世代へのバトンタッチに際して
- ・憧れの森永さんの思いを引き継いで 泉房穂



#### 今月の数字

国民負担率(税金+社会保険料／国民全体所得)の推移

24.3% (S45年) → 46.8% (R6年)

企業や個人が稼いだ収入のうちどれだけ税金や社会保障として分配されるかを示す国民負担率。高度成長期には20%台半ばだったものが2023年度で46.8%に高止まりし、日本はOECD加盟36カ国の中で22番目に負担が重い国となっています。逆に日本より税等の負担の多い国が21ヶ国もあるのかと思いますが上位には物価高で国民が苦しんでいるフランスや高福祉の国フィンランド等が混在。国民の手取りを増やすのと同時に社会保障制度の改革や財政のあり方についても真剣に考える必要があると言えます。

製作者：つつみやすゆきプロフィール 1974年7月7日 熊本中央区水前寺のツツミ薬局の5人兄弟の長男に生まれる。

[学校]託麻原小、帯山中、熊本学園大学付属高校、熊本YMCA学院建築科

[経歴]現場監督から建築設計事務所勤務を経て、福岡の不動産会社に勤務。平成18年に開業・現職

2022年5月の熊本県議会議員選挙熊本市第一選挙区補欠選挙にて20033票で初当選、2023年4月、10,789票で2期目当選

[資格]宅建士・宅建マイスター・不動産コンサルティングマスター・2級建築士・CFP（国際認定FP資格）・防災士